

早春の「ため池」を覗いてみると...

人の気配を察して、数羽の「カモ」が警戒の鳴き声を発した後、飛び立っていましたが、昆虫類の姿はまだ少ないようです。

「ナナホシテントウ」だけは結構な個体数を目にしましたが、その他は「キタキチョウ」や「キタテハ」など、(ナナホシテントウと同様)成虫で「越冬」した個体をときおり見かける程度でした。

でも...

先日、「[121218 越冬するトンボ](#)」で紹介しましたように、イトトンボの中には成虫で越冬する種もいますので、もしかしたら...、と思って水際を念入りに探してみると...

いました！

成虫で越冬した「**オツネトンボ**」が結構たくさん飛んでいました。

体色が枯草と同じく茶色っぽいですので、注意してみないと気付かないところでした。

それだけではありません、「成虫越冬組」に混じって、**ヤゴ**(幼虫)で越冬した**羽化したて**の種もいたのです！

写真 ~ : オツネトンボ (越冬个体)

1枚目の写真を見ると、何となく体節部が青っぽくなっているような気がします。成熟した証し、なのでしょうか？

写真 ・ : アオモンイトトンボ (今春の羽化个体)

5枚目の体色がオレンジ色の個体は、未成熟の雌です。

写真 : イトトンボのヤゴ

もうすぐ羽化するのでしょうかね。

今回掲載した写真は、先日、岬町で撮影したものです。











